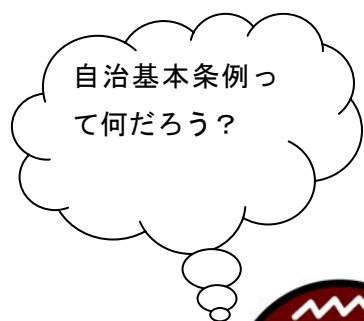


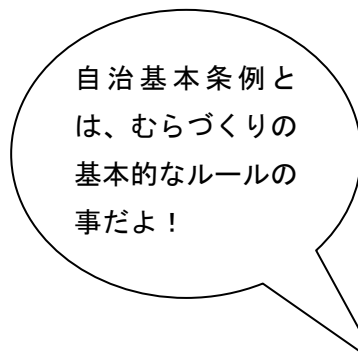
## 自治基本条例って何！？

### 自治基本条例とは・・・

自治基本条例とは、むらづくりの基本的なルールの事です。村民一人ひとりがむらづくりに参加し「自分たちのことを自分たちで決めて、行う」ことが大切です。自治基本条例には村民、議会、行政などむらづくりに関わるすべてのものが、どんな役割を担い、どんな方法でむらづくりを進めていくのかを定めた条例です。



自治基本条例って何だろう？



自治基本条例とは、むらづくりの基本的なルールの事だよ！



## なぜ自治基本条例はなぜ必要なのか・・・②

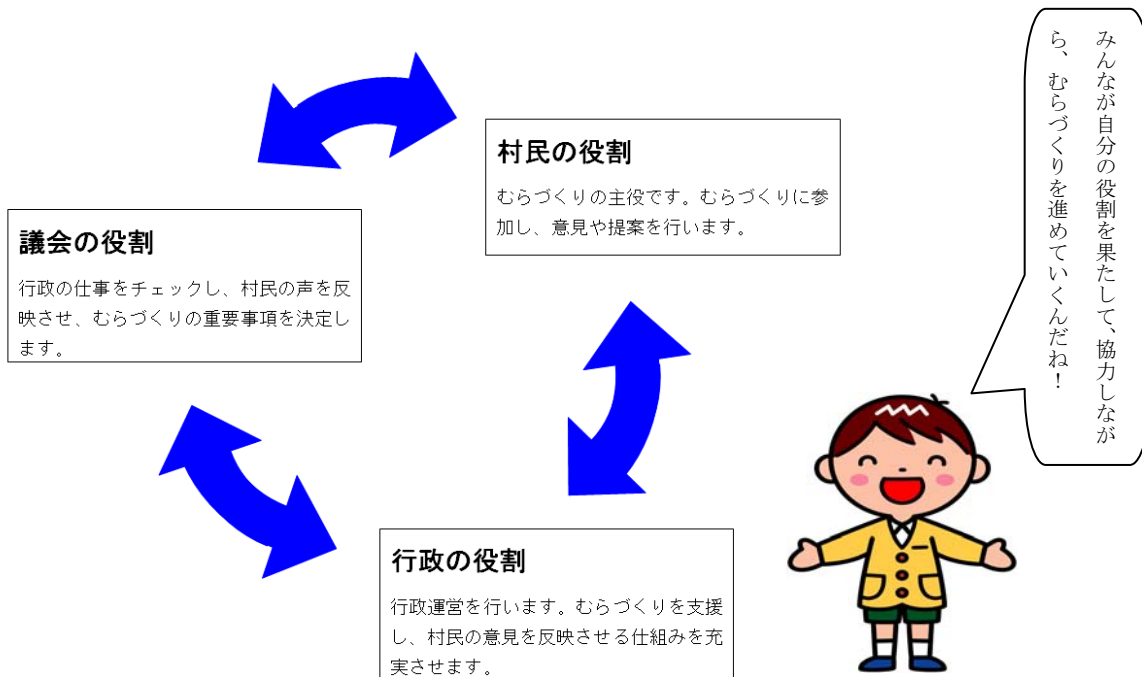
むらづくりにおいて重要なのは地域を取り巻く環境の変化や、限られた財源の中で、地域の特性や個性などを盛り込み、村民みんなが納得できるむらづくりを行うことです。村民が主役となって議会や行政と協働し、むらづくりを進めていく事を明確にするため、むらづくりの基本的なルールである自治基本条例が必要なのです。

# 私たちがむらづくりの主役です！



### 自治基本条例はなぜ必要なのか・・・③

自治基本条例は村民・議会・行政などむらづくりに関係するすべてのものが、どんな役割を担い、どんな方法でむらづくりを進めるかを定める条例です。村民・議会・役場にはそれぞれにどんな役割があるのでしょうか！？今回は例を挙げてみます。



自治基本条例はなぜ必要なのか・・・④

そもそも自治ってなに・・・？

自治とは、文字のとおり「自」らを「治」める、つまり、「自分で決めて、自分で行動し、その結果に責任を持つ」ということです。自治基本条例における自治とは「地方自治」の事です。

地方自治には「団体自治」と「住民自治」とがあり、その2つから成り立っています。

### 団体自治

「市町村などの団体が、団体として自立して、団体の責任として問題に取り組む」



### 集団自治

「地域の住民が、自分たちの意思で、自分たちの責任で問題に取り組む」

自治基本条例はなぜ必要なのか・・・⑤

そもそも条例ってなに・・・？

条例とは、国の法律とは別に、村や県などが自主的に作る法律のようなものです。ですから、みんなが条例を守らなければなりません。したがって、「自治基本条例」とは、「みんなが守る、むらづくりの基本ルール」を定めた、「村の法律」のようなものです。また、村の条例を作ったり、変更したりするには、村議会が認めなければならないといった約束があります。

「自治基本条例」とは、「みんなが守る、むらづくりの基本ルール」を定めた、「村の法律」のようなものなんだね！



自治基本条例はなぜ必要なのか・・・⑥

読谷村第4次総合計画基本構想とどう違うの？

読谷村第4次総合計画基本構想とは平成20年から10年間の読谷村のむらづくりの指針を示し、それを実現するための基本的な施策を総合的、体系的に組み立てたもので、「こういうむらにしたい。そのためにこういう考えで、これらの事業を行う」という指針を示したものです。一方、自治基本条例はむらづくりの基本原則、村民の権利や責務、行政や議会の組織・運営に関する事項など「むらをつくる際には、こういうルールで」というむらづくりの基本的なルールを定めたものです。

読谷村第4次総合計画基本構想とは「こういうむらにしたい。そのためにこういう考えで、これらの事業を行う」という指針を示したもので、自治基本条例は「むらをつくる際には、こういうルールで」というむらづくりの基本的なルールを定めたものです。



## 自治基本条例はなぜ必要なのか・・・⑦

### 読谷村のさまざまな取組・・・

読谷村ではこれまでも住民自治を目指したいろいろな取り組みを行って参りました。

読谷村の「むらづくり」は、以前から総合計画、字別構想、各分野の基本計画策定に多くの村民が参加・参画をしています。また、行政懇談会、出前講座や村民円卓会議を実施し、村民の皆様は、村の現状や村政の取組などについて理解を深めてもらい、むらづくりの課題を共有していただくとともに村民の意見を村政へ反映させて参りました。

今後も村民が主役となって「むらづくり」を進めていく事を明確にするためにも、むらづくりの基本的なルールである自治基本条例が必要なのです。

これまでも住民自治を目指した取り組みが行われてきたんだね！



#### 村民が参加・参画した取り組み

- ・ 総合計画
- ・ 基本計画
- ・ 字別構想
- ・ 行政懇談会
- ・ 出前講座
- ・ 村民円卓会議
- ・ その他

## 自治基本条例はなぜ必要なのか…⑧

### 自治基本条例ができるとなにか変わるの？

むらづくりの基本ルールができることで、みんなが主役となる「むらづくり」を進めていくことができます。また、村民と村が目標と情報の共有を進めていくことで、これまで以上に村民のみなさんのむらづくりへの関心や参加意識が高まることが期待できます。

むらづくりの基本ルールができることで、みんなが主役の「むらづくり」を進めていくことができるんだね！





## 自治基本条例はなぜ必要なのか…⑨

### 自治基本条例ってどうやってつくるの？

村民が主役となる自治基本条例をつくるためには、1人でも多くの村民のみなさんに、この条例の意義を十分理解、認識してもらい、村民・議会・行政が一緒になって条例づくりに参加することが重要になります。みんなで会議や意見交換をおこなうことで、幅広く村民の意見を反映した自治基本条例がつくられます。

村民が条例について意見を言うだけでなく、条例の案づくりから参加してつくられるんだね！



## 自治基本条例はなぜ必要なのか…⑩

### なぜ村民も条例づくりに参加するの？

むらづくりにには、村民のみなさんが独自に取り組めるものや、村民と行政が一緒に取り組んだ方がよいものなど、様々なものがあります。住みよいむらづくいをおこなっていくためには、村民、議会、行政が適切な役割分担のもとに協力しながら歩いていくことが大切です。

自治基本条例をつくることで、計画の策定から実施まで、様々な役割でみんなが、むらづくりに参加できるようになります。地域の課題にも、みんなが主体となって取り組むことができるようになります。

このような自治基本条例を作るためには、みんなで知恵を出し合いながら、条例を作り上げることが必要です。

村民が主役の自治基本条例を作るためには、みんなが条例の案づくりから参加する必要があるんだね！



## 自治基本条例はなぜ必要なのか…⑪

なぜ今、必要なの？

以前は道や水道を整備したいなど、日本中に同じような要望・課題があり、国等の大きな組織が中心となって物事を決め、課題解決等に取り組んでいました。しかし、現在では、地域で異なった様々な要望・課題が増え、地域の実情に合ったやり方で進める方が効率的になってきました。これが地方分権です。

このような中で、地域を取り巻く環境の変化や、限られた財源の中で、地域の特性や個性などを盛り込み、みんなが納得できるおらづくりを行っていくためのルールが必要になります。これが「自治基本条例」というわけです。

